



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



一年間の教育活動へのご理解・ご協力に感謝いたします



1年生が育てているチューリップの花が徐々に開花してきました。明後日には、本年度の修了式を迎えます。お子様があゆみを持って帰りましたら、一年間の成長をともに喜び、新学年への弾みとなるお話をお願いいたします。

さて、本年度も新型コロナウイルス感染防止を最優先しながらの教育活動を余儀なくされましたが、市教委の通知等を基盤に、可能な形態をとりながら学校教育目標達成に向けて取り組んでまいりました。以下の評価結果（数字は4点満点）からも明らかのように、しっかり成長につながるよう取り組めたものもあれば、不十分と考えられるものもあります。保護者アンケートでも「たくましい体」づくりに関する項目は本年度も低く、大きな課題の一つと考えています。

こうした状況でしたが、保護者・地域の皆様方には例年同様の温かいご理解とご協力をいただきました。また、PTAからは感染防止等に関する物品のご寄付をいただきました。本当にありがとうございました。新年度になってもまだ状況の改善は難しいと思われます。しかし、本校の実情を踏まえた教育活動を引き続き工夫し、学校教育目標達成に向けて、さらに前進できるようがんばります。

北九州市立八幡小学校 年度末学校自己評価結果

★ 家庭や八幡小地域、中学校と連携し合い、豊かな人間性とたくましい生活を創り出していく子どもを育成する。	(1) 豊かな人間性	①子どもたちが、自分を大切にするとともに周りの人を大切にすると人権感覚を高めるような指導を重ねた。	3.6
		②特別支援学級への理解を深める指導をするとともに、学校生活のユニバーサルデザイン化(環境・意識)を進めた。	3.6
		③道徳科の指導で、話し合い活動などを通して子ども自身の内面に迫る学習展開を工夫した。(明日への伝言板も)	3.5
		④『あいさつ日本一』を目指し、「だ・い・じ」の指導に積極的に取り組んだ。	3.3
	(2) たくましい体	①体育科学習において十分な運動量を確保し、体力・運動能力の向上に努めた。	3.2
		②体力向上プログラムやジャンプアップ運動を学習に取り入れるなど、授業改善に取り組んだ。	2.9
		③おもしろ体力測定やわくわくスポーツコーナー、体力アップ月間の取り組みに積極的に参加するよう促した。	3.5
		④元気っ子タイムはもとより、日常の外遊びを推奨して、進んで運動に親しむ習慣付けを図った。	3.3
	(3) 自ら学び考える	①子どもたちが、自分の考えを他の人に説明したり、文にまとめたりする学習場面を設定した。	3.7
		②1時間ごとの「学習のめあて」をもたせ、「まとめ」「ふりかえり」を行った。	3.4
		③一人一人の課題解決に向けて、教師はもとより子ども同士が励まし支援する学習の雰囲気醸成した。	3.6
		④学習時の姿勢、発表の仕方や聴き方、ノートまとめ方など、学習規律が定着するように指導した。	3.6
	(4) 協力・よりよい生活の創出	①いじめの未然防止・早期発見に向け、アンケートや面談を通して一人一人の状況を把握し、適切に対応した。	3.6
		②『八幡のあたりまえ』を中心に、子どもたちの規範意識を高める指導を徹底した。	3.7
		③安全・安心な学校生活づくりに向けて、「自分の命は自分で守る」意識を高める指導を行った。	3.5
		④学級活動や学校行事等において、子どもたちの自主的・自発的な活動の場を意図的・計画的に設定した。	3.6
	(5) 家庭や地域、中学校との連携	①家庭訪問や電話、連絡帳、学年だよりなどで、きめ細かく家庭連絡を行った。	3.4
		②家庭学習や基本的な生活習慣の定着に向けて、積極的に家庭との連携を図った。	3.3
		③地域団体(保育所や中学校を含む)との交流や地域人材の活用など、地域と協力しながら教育活動を行った。	3.2
		④地域の祭りや行事などへの積極的な参加を促した。	—

4…できた 3…大体できた 2…あまりできなかった 1…できなかった

卒業おめでとう

17日(木)、早春の晴天の下、一年間「八幡小のリーダー」として活躍した6年生54名が本校を巣立ちました。ご卒業おめでとうございます。何より、全員が出席できたことがうれしかったです。

本年度も座席間隔や参加者の人数制限等、感染防止策をとりながら短時間で実施しました。また、密にならないよう、学級指導の様子は体育館にもライブ配信してご覧いただきました。見送りも間隔を広くとるなど感染防止に留意して実施しました。

